

# 第1期木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価

<評価基準>

評価	内容
A	非常に効果的であった(達成率が100%以上)
B	効果的であった(達成率が80%以上で、実績値が事業開始前よりも前進・改善したもの)
C	概ね効果的であった(達成率は低いが、実績値が事業開始前よりも前進・改善したもの) (実績値が事業開始前よりも後退・悪化したものの、達成率が80%以上)
D	効果がなかった(実績値が開始前よりも後退・悪化したもの)

<取組み事業実施KPI一覧>

事業番号	基本目標	施策目標	数値目標(KPI)				子育て未来-KPI				施策						
			項目	目標	実績	達成率	項目	目標	実績	達成率	施策項目	項目(KPI)	策定期	目標	実績	達成率	
1	学研都市としての特性を活かした産業活性化・都市近郊農業の振興・活性化・企業誘致・立地による雇用と就業の創出	○最先端の研究成果が集う学研都市の特色を活かした企業集積や都市近郊農業の活性化を図りながら、雇用と就業の創出に取り組みます。 特に、企業などが取り組む子育て環境の整備に対する支援(子育てサポート企業(厚生労働省)の認定への応援など)や、学校給食における安心安全な地域農産物の提供に重点的に取り組むことで、子育て・子育ちのまちづくりを推進します。	1. 就業者数(人)	32,277	32,271	99.98% B	子育てサポート企業(厚生労働省)認定支援延べ件数(件)	5	7	140.00% A	① 最先端の研究成果を活かした新産業・新事業の創出 ② 安定した付加価値の高い農業の振興 ③ 創業支援など雇用対策の充実	事業所立地件数(学研エリア)(所数)	22	28	32	114.29%	A
			2. 首都圏での新たな市内産農産物流通量(トン)	21	13.1	62.4% C						学研区域の未活用産業用地の割合(%)	64.6	41.6	36.3	116.00%	A
2	交流人口の増加、地域住民による「地域活性化・観光」の展開	○地域に暮らす人々が市の魅力を再発見するとともに、それを活用することで新たな魅力を醸成し、地域内外の多くの人と交流できるよう、魅力の創造と人々の交流促進に取り組みます。 ○特に、子どもたちが、まちへの愛着を深めることができる木津川市の歴史文化遺産を活用した学習プログラム、里地里山を活用した婚活事業や多世代間交流の促進などに重点的に取り組むことで、子育て・子育ちのまちづくりを推進します。	1. 観光入込客数(人)	1,000,000	916,000	91.60% B	里地里山などを活用した多世代交流や婚活イベント支援延べ件数	5	13	260.00% A		高麗寺跡整備率(%)	34.0	70.0	85.0	121.43%	A
			2. 観光消費額(千円)	2,215,000	2,155,932	97.33% B				プロモーション映像閲覧者数(人)	0	4,000	19,607	490.18%	A		
3	「子育て支援No.1」を目指した施策の充実	○若い世代が多い木津川市において、子育て支援は、市総合戦略で掲げる将来都市像の実現のための根幹を成すものであり、重点的に取り組みます。 ○すべての子育て世代が、安心して子どもを産み育てができるとともに、子ども自身が未来に向かってはばたくことができるよう「子育て支援No.1」施策の充実、子育て情報を発信するための子育てサイト・アプリの充実などに取り組むことで、子育て・子育ちのまちづくりを推進します。	1. 合計特殊出生率	1.8	集計中		「保育、子育てを支援するサービス」に対する満足度(%)	33.8	23.7	70.12% C	① 安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実 ② 保育の「質」向上と待機児童ゼロの継続 ③ ICT 教育など最先端の教育環境の充実	つどいのひろば利用者数(人)	6,800	7,000	19,496	278.51%	A
											ファミリーサポートセンター年間利用数(日/人)→(件)	90	125	405	324.00%	A	
4	小さな拠点を活用した個性と魅力あふれる地域コミュニティの充実	○世代や地域、居住歴、興味・関心など、異なる背景を持つ多様な人が結びつきながら居住する状況を活かし、市ならではの個性と魅力が溢れる地域コミュニティづくりに取り組みます。 ○特に、地域で暮らす人々が、地域活動を楽しみ、また子育て世代が子どもたちとともに地域と繋がるよう、小さな拠点(多世代交流・多機能型)づくりや、安心・安全な地域づくりに重点的に取り組むことで、子育て・子育ちのまちづくりを推進します。	1. 市外からの滞在人口数(人)	52,000	54,968	105.71% A	「通勤・通学の交通の便利さ」に対する満足度(%)	39.7	31.9	80.35% C	① 地域公共交通ネットワークの充実 ② 公共施設の有効活用 ③ 伝統的まちなみや景観の保全と活用	年少(15歳未満)人口(人)	12,600	12,650	13,147	103.93%	A
			2. まちへの愛着度(%)	73.0	72.5	99.32% B					待機児童数(0人)を継続(人)	0	0	0	100.00%	A	
5	地元教育機関や企業との連携によるまちの活性化	○京都大学大学院農学研究科を始めとする様々な教育機関等と連携し、講座や体験学習会を通して農業への親しみを深めるとともに、ブランド農産品など、新たな魅力の創造によるまちの活性化に取り組みます。 ○特に、子どもたちが、興味を持ち楽しめる講座や体験学習会のプログラムを通して、最先端の科学技術に対する知識を身にこなすとともに、地域の特色・文化等を学び、大人になっても木津川市に住みたいと思ってもらえるよう、まちへの愛着・U/1ターン意向の醸成に重点的に取り組むことで、子育て・子育ちのまちづくりを推進します。	1. 京都大学との講座・体験学習の連携実績(件)	20	18	90.00% B	しごと・職場体験学習延べ活動日数(日)	100	85	85.00% B	① 京都大学大学院農学研究科との連携 ② 立地企業や様々な教育機関との連携	市民農業大学講座受講生(人)	0	100	12	12.00%	C
			2. 木津川ブランド農産品開発数(品)	2	12	600.0% A					農業等体験学習会延べ参加者数(人)	0	300	868	289.33%	A	
6	まちづくりに取り組む、取り組もうとする人材の支援・創出	○木津川市の将来を担う、まちづくりのリーダーやキーマンとなる人材の育成に取り組むとともに、まちに関する情報サイトを設置し、移住・定住を促進するなど、これまでのまちづくりの成果を将来にわたって受け継いでいくような支援に取り組みます。 ○特に、まちを担う若い世代や子どもが楽しみながら参加できるまちづくりを通して、マチオモイ※の意識を醸成するとともに、社会のグローバル化等に対応した、国際感覚を持った人材の育成に取り組むことで、子育て・子育ちのまちづくりを推進します。	1. マチオモイな仲間たちの支援・創出実績(人)	60	95	158.33% A	中学生アンケートにおける住みよさ満足度(%)	85.0	77.0	90.59% C		フードパレード構想計画書	未策定	策定	未策定		D
			2. 定住意向率(%)→中学生アンケート(%)	71.0	—	— D				防犯カメラ設置基数(基)	0	42	52	123.81%	A		